

倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和元年11月21日(木) 15:13 ~ 15:42
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、長嶋医師、薬剤科長、事務部長、看護部長、矢崎外部委員、山岡外部委員
庶務班長(書記)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名① 精神科看護師のキャリアアンカーの特徴
- アンカー毎の仕事意欲の違いについて -
(申請者 看護師(10病棟) 武田 哲斉(新規))

申請者

- 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

- キャリアアンカーがよくわからないため、詳しく説明してください。

申請者

- キャリアアンカーは8種類あると定義され、具体的には専門性、管理、自立・独立、保障・安定、創造性、社会貢献、挑戦、生活様式のキャリアアンカーに分けられ、この中で自分が本当にやりたいことを考えるための拠り所で、たとえば難しい課題や仕事に挑戦することが大事だと思う人は挑戦のキャリアアンカーとなり、仕事以外に家庭を一番に考えている人は生活様式のキャリアアンカーとなります。これらの質問票を書いてもらうことで、どれが自分に取っての一番あてはまるキャリアアンカーがわかります。

委員

- 対象が役職のない看護師とは副師長未満の人が対象なのか。

申請者

- そうです。

委員

- 回収方法は全病棟に配って回収するのか。

申請者

- 各病棟に配布して、各病棟の回収ボックスを置いて回収します。

委員

- 同意書は作らないのか。

申請者

- はい。回答をもって同意したとみなします。

委員

- 用紙は誰が書いたかわからないよね。無記名になってるから。

申請者

- はい。一度、回答し回収したら、そちほどの返却は出来ないことになっています。説明書きにも記載しています。

委員

- かなり細かく個人情報に記載するので、わかろうと思えば、わかってしまうことはないのか。

申請者

- データの閲覧については、私（申請者）と指導者限定で、他に見られないよう厳重に管理する。

委員

- 今回、この研究を思いついた皆さんは何か仮設をお持ちなのか。

申請者

- どのキャリアアンカーが仕事意欲が高いのかはやってみないとわからないが、一般的には専門のキャリアアンカーであれば、精神科看護師として専門性を突きつめていきますので、そういう方は仕事意欲も高いのかなと思います。

委員

- 今の所の仮設は、一般病棟の看護師に対してはやられてて、精神科病棟ではわかってないから、調査するので、仮設は一般病棟の看護師と精神科病棟の看護師とキャリアアンカーについて変わらないのが仮設になると思う。よは、仮設がないと分析方法にも書かれている何と何を比較するのか。

申請者

- 比較するのは8種類のキャリアアンカーで振り分けた中で、それぞれのキャリアアンカー同士でどれが仕事意欲が高いのか、今回のデータの中で比較していきたい。

委員

- 質問表などは著作は大丈夫ですか。使うとお金がかかることもあるので、もし外部に発表するならこのあたりをしっかりと確認してください。

申請者

- わかりました。

委員

- 今回、参考文献にした著者名がいきなり文書始まりにあるが、先行研究ではとかをはじめに入れた方がよいのではないか。

申請者

- わかりました。

【審査結果】

課題名① 精神科看護師のキャリアアンカーの特徴
—アンカー毎の仕事意欲の違いについて—

今回の委員会での文言を修正し、修正されたことが確認出来たら承認ということによろしいか。
→条件付承認とする（委員長が修正箇所を確認し承認とする）。

課題名② 患者からの暴力を受けた看護師に対する精神的サポートのための
取り組み—CVPPP有資格者によるサポート体制構築の試み—
(申請者 看護師(2-1病棟) 河野 圭伸(新規))

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 主な研究はアンケートということですか。

申請者

○ そうです。

委員

○ 撤回が出来ないというが、同意撤回書がついているが。

申請者

○ それは投函する前までです。

委員

○ 投函した後、名前と結び付けてないから撤回出来ないのでは。

申請者

○ そうです。

委員

○ 前提は暴力を受けた人に調査するの。

申請者

○ 暴力を受けた人の調査ではなく、暴力を受けた人に対して有資格者
が行う、有資格者への調査である。

委員

○ 20人集めるまでには相当時間がかかるのでは。

申請者

○ 前回の研究の時は、半年で約10人位。多く見積もって20人位に
しました。一応、インシデント・アクシデントにあがらなかった分も
対象にしている。

委員

○ 20人集めるまでには相当時間がかかるのでは。

申請者

○ 前回の研究の時は、半年で約10人位。多く見積もって20人位に
しました。一応、インシデント・アクシデントにあがらなかった分も
対象にしている。

委員

○ 同じ人が複数回書く場合はあるのか。

申請者

○ ただ、有資格者20名以上いるので同じ人が書かないように説明は
します。

委員

○ 研究期間の終了予定日に記載がないが、研究期間は定めないという

ことか。

申請者

- 倫理承認後、1年間にしたい。

委員

- 調査票の提出をもって調査に同意くださったと書かれているが、同意書は書いてもらうのか。

申請者

- そうですね。

委員

- 同意書とアンケートが一緒にくれば、誰が書いたかはわかってしまうので、調査票の提出をもって同意くださったと判断させていただくと書かれているから、同意撤回書もいらないではないか。

申請者

- わかりました。

委員

- それでは、同意書、同意撤回書はなしで説明する。

【審査結果】

- 課題名② 患者からの暴力を受けた看護師に対する精神的サポートのための取り組みーCVPPP有資格者によるサポート体制構築の試みー

それではこれも同意書、同意撤回書は削除して、研究期間を明確にさせていただき、修正されたことが確認出来たら承認ということによろしいか。
→条件付承認とする（委員長が修正箇所を確認し承認とする）。

以 上